

子育て支援コーナー

なかよし保育園子育て支援センター

(☎96-4551・FAX22-9881)

★親子教室

- 1歳6カ月～2歳5カ月 9日(火)・16日(火)
- 2歳6カ月以上 23日(火)・30日(火)

★すくすく赤ちゃん

- ネンネ・寝返りグループ 4日(木)・11日(木)
- ハイハイ・ヨチヨチグループ 18日(木)

★ツインズ・デー 19日(金)

※双子のお子さんを子育て中の方ならどなたでも参加できます。

★マタニティおしゃべり広場 15日(月)

いずれも午前10時～11時30分 費用無料、申し込み不要

★育児講座 25日(木)

講話 小山勝巳氏(子育てについてのお話)

午前10時～11時30分 費用無料

定員 15人〔先着〕

市子育て支援センター

(はまなす保育所内☎・FAX24-1260)

★あそびの広場

年齢別グループで、ふれあい遊び・工作などを行います。
指導員と一緒に親子で楽しく遊びませんか。

- 0歳～1歳半 19日(金)
- 1歳半～2歳 12日(金)・26日(金)
- 2歳～2歳半 17日(水)・31日(水)
- 2歳半～3歳 10日(水)・24日(水)
- 3歳～3歳半 16日(火)・30日(火)
- 3歳半以上 9日(火)・23日(火)

いずれも午前10時～11時 費用無料、申し込み不要

(受付時間は午前9時30分～9時50分)

★新年お楽しみ会 18日(木) はまなす保育所ホール

はまなす保育所との交流事業です。一緒にゲームなどして楽しみましょう。

定員 30組

午前10時～11時30分(受付時間:午前9時30分～9時50分)

費用無料、申し込みが必要です

中央児童館(☎・FAX23-7406)

★新年お楽しみ会 13日(土)

“正月遊びをみんなで楽しむ”

こま・けん玉・すごろく・かるた・書き初めなどを行います。

午前10時30分～11時30分

対象 小学生

費用無料、申し込み不要

河北子育て支援センター

(飯野川保育所内☎61-1601・FAX62-2359)

★あそびのひろば

子育て支援センターにきて、遊びませんか。今月は10日(水)から開放します。

11日(木) 風をつくろう

17日(水)・18日(木) タオルを使って遊ぼう(フェイスタオル持参)

この他にも楽しい遊びを用意しています。

(毎週 月・水・木曜日 利用時間:午前10時～11時30分)

※子育てについての悩み・相談は、電話でも受け付けています。お気軽にご利用ください。

河南子育て支援センターパプラ(☎・FAX72-4670)

★わいわいサロン

(2人の指導員と親子で遊びましょう。申し込みは不要です。)

農村環境改善センター2階(パプラ) 午前9時30分～11時30分

● 0・1歳親子

9日(火) 絵本の読み聞かせ

16日(火) お話「7匹のこやぎ」

23日(火) 制作『鬼のお面をつくろう』

30日(火) サロントーキング

● 2歳以上親子

11日(木) おばあちゃんの読み聞かせ

18日(木) お話「7匹のこやぎ」

25日(木) 制作『鬼のお面をつくろう』

親子の上靴・飲み物・着替えなどをお持ちください。

★でんわ相談・来所相談…ひとりで悩まないで!(月～金)

★スクエア子育てひろば『豆まき会』のご案内

今年はその新しい鬼が登場します。豆まきグッズを親子で作って、一緒に楽しみましょう!

2月1日(木) 9時45分から

ところ 農村環境改善センター

参加費 こども1人 300円

持ち物 飲み物、おしぼり

※参加費を添えて、1月16日(火)までパプラにお申し込みください。



桃生地区子育て支援事業(桃生保健センター☎76-3360)

★遊びの広場

ところ 桃生保健センター

10日(水)、17日(水)、24日(水)、31日(水)

ところ 桃生文化交流会館(☎76-3418)

13日(土)、20日(土)、27日(土)

※いずれも午前9時30分から

★親と子の遊びの広場出前事業

ところ 神取いきいき交流センター

23日(火) 午前9時30分～

★子育て電話相談 4日(木) ☎76-3360

対象者 どなたでもご相談できます。

相談内容 子育てに関すること

北上地区ひまわり子育て支援

★ひまわりキッズ 午前10時～11時30分

ところ 北上保健センター(☎67-2301)

17日(水)・24日(水)・31日(水)

編集後記

市民の皆さん、新年明けましておめでとうございます。

皆さんは新年をどのようにお過ごしでしょうか?

わたしは、新年を迎えるにあたり、抱負というか、目標などを持って亥年に挑みたいと思い、ちょっと考えてみました。やはり・・・去年あたりから体が気持ちについてこなくなってきたので、“若さを取り戻す”体力づくり&美肌(!?)に励みたいと思っています。市報の方は、新たな年を迎え、若干のリニューアルを行いました。これからも皆さんに楽しく読んでもらえる市報を目指して、創意工夫しながら頑張りたいと思っています。本年もよろしくお祈りします。⑤

石巻の人口と世帯数

平成18年12月1日現在
()内は昨年同月比

男性	81,659人 (-817人)	女性	87,320人 (-664人)
人口	168,979人 (-1,481人)	世帯	59,627世帯(+463世帯)

(文化財) たんぽう

②②

石巻地方のニホンカモシカ

石巻市文化財保護委員 立花 繁信

ニホンカモシカは、日本の固有種で、本州・四国・九州に分布しています。五・六十年前までは、高山の岩場に住む孤高の動物と考えられ、絶滅が心配されていました。国は、昭和九年（一九三四）天然記念物に指定。昭和三〇年（一九五五）特別天然記念物に格上げし、保護充実を図りました。ところが、昭和四十五年（一九七〇）前後から表面化してきたヒノキ・スギなどの食害問題や、その後の研究で「孤高の動物」というイメージはすっかり失われてしまいました。

最近では、石巻の市街地や平地の集落にも出没し、新聞紙上を賑わしています。気仙沼から石巻にかけての貝塚からは鹿、猪などが多く出土しています。中にはオオカミ・熊・オットセイ・鯨類までが見つかっていますが、カモシカは、どの貝塚からも発見されていません。石巻市文化財保護委員（考古学）の茂木好光氏、奥松島縄文村歴史資料館の菅原弘樹氏は『北上川中流域以北の丘陵地には生息していたが、縄文時代の北上川下流域、三陸沿岸地方には生息していなかったのでは……』との見解を示されています。

古代・中世からは、カモシカの生息の手掛かりになるような資料は見つかりません。近世の資料として、『伊達治家記録』があります。藩祖政宗、五代吉村、六代宗村が石巻地方で元和四年（一六一八）から寛保元年（一七四一）まで、少なくとも十回の狩りをし、千五百頭を超える鹿、猪、猿などを捕獲していますが、カモシカの記録はありません。明治以降の生息情報も皆無でした。これらのことから、宮城県の北上高地、三陸沿岸には、縄文時代からごく近年までカモシカは生息していなかったと考えられるのです。

昭和四十四年（一九六九）七月四日、旧河北町赤柴付近の北上川でカモシカが捕獲されました。これが、石巻地方進出の始めであると考えられます。北上・河北地区では、一九八〇年代にはぼつぼつ見られ、一九九五年頃からは珍しい動物ではなくなりました。新旧北上川を越えたのは、一九九七年で、二〇〇六年現在、北上・河北・桃生・雄勝・河南・そして石巻の各地区と女川町で生息が確認されています。また、牡鹿地区での確認も時間の問題と思われれます。

カモシカは、鹿の仲間ではなく、牛の仲間です。鹿の仲間は、雄だけに角が生え、毎年、生え替わりますが、牛の仲間は雄雌ともに角が生え、一生、少しずつ伸び続けるのです。カモシカは、単独生活することが多く、一年を通じて個体のナワバリを持ちます。ナワバリの面積は一〇〇〜五〇〇ヘクタールで、一夫一妻制の傾向が強く、一産一仔で、五・六月に出産します。

カモシカの大増殖の原因は、森林の大規模な伐採であるという結果が出ています。カモシカが人里に現れるのは、四〜八月で、これは出産、子育て期とナワバリが大きく関わっているものと考えられます。

近世の資料として、『伊達治家記録』

藩祖政宗、五代吉村、六代宗村が石巻

地方で元和四年（一六一八）から寛保元年（一七四一）まで、少なくとも十回の



石巻市立病院

健康コラム

カメラを

受けましよう



市立病院 消化器科部長 矢吹 孝

医者になって、二十年近くになりました。がんで亡くなる方が、一向に減らないという思いがあります。がんの中には非常に進行の早いものや未だに治療法のないものが存在します。しかし大部分のがんは早く発見すれば治療法のあるものです。つまり、早期発見が、がん治療の第一ではないのでしょうか？特に胃、食道、大腸などの消化管の分野での内視鏡治療（カメラでの治療）はめざましく進歩しています。消化管のがんは、粘膜の表層より発生して下に成長していきます。ですから、内視鏡で早期発見ができるのです。一番表層の粘膜層内にとどまる段階で発見すれば、カメラで、完全に治療が可能です。みなさんが胃カメラや大腸カメラなどの検査を定期的に受けていただくことが一番のがん治療と考えます。しかし、日常診療で、カメラ検査を受けることは患者様にとっては、かなりの決心のいることのように思われます。胃カメラも大腸カメラも、以前と比べるとかなり楽に受けていただけるようになりました。それでも、苦痛はありません。その時にどう考えるか、イヤイヤ検査を受けるのか、必要な苦痛は受け入れるのか、心の持ちようによってカメラの苦痛も変わります。カメラを薬に受けていただくコツは？と聞かれば、カメラをこわがらないこと、できれば、友達と思えるくらいになれば良いのではないのでしょうか。かく言う自分もカメラを受けたときは苦しかったです。でも必要と思うことで苦痛も軽減すると思えます。カメラで人類を救う！それが自分の気持ちです。みなさんもぜひ、カメラを受けて、健康を確認してください。